



あなたの声に力いっぱい!

# 公明こうべ

2011年  
12月号

NEW KOMEITO  
公明党

発行：公明党神戸市議員団  
神戸市中央区加納町6-5-1

<http://www.kobe-komei.net>

## 平成22年度・決算市会で論戦

### 専門家の検討会設置を表明

中学校給食を求める声が強いなか、平成22年度の決算を審議する第三回定例会で、公明党市議団は、生徒、親それぞれの要望にそった給食の実現を教育委員会に求め、検討会を設置する旨の答弁を引き出しました。

# 中学校給食実現に大きな一歩

## 専門家の検討会設置を表明

公明党はこれまで10年以上中学校給食の問題に取り組んできましたが最大の課題は費用。共産党が主張する「自校調理方式」(各学校で市職員が調理)では調理室などの整備で124億円、職員の人件費などで毎年21億円と莫大な予算が必要。しかし一方で、ほかにエアコンやエレベータの整備、トイレの洋式化などの要望も強く、給

食だけに多額の予算を使うのは得策ではありません。

### 弁当販売をまず実現

しかし一方で、弁当を持参せず昼食を食べない中学生が少なくないことが調査でわかり、給食実現まで手をこまねいているのではなく、中学校での弁当販売の実施を要求し実現しました。しかし残念ながら喫食率は全校平均で1%に満たない状況です。なぜ不人気なのか。今回改めて、給食の希望も含め、親子にアンケート調査を行いました。

### 生徒も親も喜ぶ給食実現を

調査では、親の75.2%が給食を希望する一方、生徒の53.3%は家庭弁当を希望する結果が出ました。親子のこの違いは、生徒たちが健康的な献立内容よりもむしろ食べやすく好物の入る家庭弁当を望んでいることを示しています。

公明党市議団は、この調査結果を踏まえ、保護者を取り巻く状況の変化や子どもたちの栄養管理を考えたとき、親子ともに喜ぶ給食を実施すべきことを訴え、永井教育長から、専門家による検討会を設け結論を出したいとの答弁を引き出しました。

### 民間活力でコストダウンを図る

中学校給食の実現は、いかに莫大な公費をかけずに実施するかその知恵にかかっています。そのため他都市を調査し、温かくおいしく健康的な給食を安価に提供できる方策を検討しています。

京都市では、給食と家庭弁当の

選択制にし、教育委員会が健康的な献立を考え、民間業者に給食弁当を発注することで大幅にコストダウンを図っています。千葉市は民間業者に委託してセントラルキッチンで調理し各学校に配送する方式ですが、いずれも温かく、おいしい給食が提供されています。

今後、より良い給食の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

食だけに多額の予算を使うのは得策ではありません。

### 弁当販売をまず実現

しかし一方で、弁当を持参せず昼食を食べない中学生が少なくないことが調査でわかり、給食実現まで手をこまねいているのではなく、中学校での弁当販売の実施を要求し実現しました。しかし残念ながら喫食率は全校平均で1%に満たない状況です。なぜ不人気なのか。今回改めて、給食の希望も含め、親子にアンケート調査を行いました。

### 生徒も親も喜ぶ給食実現を

調査では、親の75.2%が給食を希望する一方、生徒の53.3%は家庭弁当を希望する結果が出ました。親子のこの違いは、生徒たちが健康的な献立内容よりもむしろ食べやすく好物の入る家庭弁当を望んでいることを示しています。

公明党市議団は、この調査結果を踏まえ、保護者を取り巻く状況の変化や子どもたちの栄養管理を考えたとき、親子ともに喜ぶ給食を実施すべきことを訴え、永井教育長から、専門家による検討会を設け結論を出したいとの答弁を引き出しました。

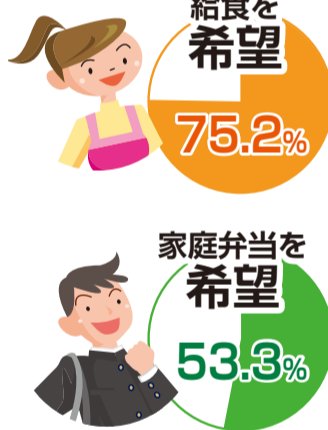
### 民間活力でコストダウンを図る

中学校給食の実現は、いかに莫大な公費をかけずに実施するかその知恵にかかっています。そのため他都市を調査し、温かくおいしく健康的な給食を安価に提供できる方策を検討しています。

京都市では、給食と家庭弁当の

選択制にし、教育委員会が健康的な献立を考え、民間業者に給食弁当を発注することで大幅にコストダウンを図っています。千葉市は民間業者に委託してセントラルキッチンで調理し各学校に配送する方式ですが、いずれも温かく、おいしい給食が提供されています。

今後、より良い給食の実現に向けて全力で取り組んでまいります。



## 小中学校にエアコンの設置を求める!

### 熱中症対策を万全に

公明党市議団は中学校給食に加え、小中学校の教室にエアコン設置を求めています。これまで騒音の激しい地域などには一部設置してきました。しかし来年度、学習指導要領の改訂にとともに、夏休みが短くなる可能性もあり、児童生徒が授業に集中できるよう、また子どもたちの命にもかわる熱中症対策の上からもエアコン設置は大切な課題です。



### 学校耐震化も実現

公明党市議団は、教育行政のなかで児童生徒の命と健康をまもることが最重要であるとして、市立学校園の

耐震化工事の促進を市長に求め、今年度末100%達成されることになりました。

そして次は、エアコン設置です。ただ、小中学校全体で約3000教室もあり、これらすべてにエアコンを設置するには、約60億円の設置費用がかかります。

また一方で、中学校給食実施の課題もあり、限られた予算のなかでこれらをすべて整備していくには、コスト削減の知恵を絞らねばなりません。共産党が主張するような各学校で市職員が給食を提供する方式では莫大な人件費、設備費がかかり給食もエアコンも実現はおぼつきません。

### 太陽光発電の導入提案

さらに、環境問題の観点から、エアコン設置に際しては、電気の消費による環境負荷を増やさないため、学校の屋上に太陽光発電の設置も提言しています。

3年前、政権与党として公明党は、「スクールニューディール政策」を提案し、太陽光発電の設置も含めた教育環境整備を進めようとしてきました。しかし、政権交代した民主党に中止された経緯があります。

今回は市独自で、エアコンなどの設置による電気代の節減のため、そして環境保全のため、民間活力を活用した太陽光発電設置を強く求めています。

# 年金支給開始。68歳に!?

## 民主の改悪に国民の怒り

民主党政権は、本年10月、厚生年金の支給開始年齢を68歳に引き上げることや、週20時間以上働くパート労働者からも厚生年金保険料を徴収する案などを発表。十分な説明もなく、突然の負担増に国民は猛反発。またもや民主党にだまされたとの声は巷にあふれる始末。

年金の問題は、少子高齢化で、年金を支える現役世代が減少していることが原因であり、公明党はこのバランスを回復するために、「年金100年安心プラン」を実施しました。

## 100年安心プランは大丈夫!

このプランの基本は、①基礎年金の国庫負担割合を3分の1から2分の1に増やす②保険料負担に上限を設ける(年収の20%以内、労使折半)③給付水準を現役時の平均収入の50%台を確保することとしており、65歳からさらに支給開始年齢を引上げる必要がないように設計しています。

そしてこのプランを持続する条件は、①一人の女性から生まれる平均の子どもの数を2050年までに1.39人以上に回復②賃金が毎年1%以上上昇することです。



**政治の責任で年金守れ**  
それではなぜ今負担増なのか。それは、民主党マニフェストの年金一元化策を実現するのに莫大な財源が必要で、消費税増税のどきどきにまぎれて財源を確保しておこうという思惑からです。国民にとってはダブルパンチ。公明党は、国民の立場に立つて負担を増やさないよう、庶民の老後を支える年金制度を守るために全力を挙げて参ります。

# 災害!そのとき高齢者、障がい者は

阪神淡路大震災でも、本年3月の東日本大震災でも、高齢者、障がい者あるいは人工透析患者の方など、災害時の「要援護者」の方々の避難、救済のあり方が問題になりました。

## 「要援護者」救済計画急げ

寝たきりで一人で避難できない、医療、介護サービスが欠かせないといった方を誰がどこへ避難させ、どこでケアするのか、神戸市でも救済マニュアルは未だ作られていません。

公明党市議団は、これまで「要援護者」対策を訴え続けてきましたが、今回の定例市会で、南海、東南海地震に備え、早急に計画を作ることを強く要求しました。

## 住民とともに条例提案めざす

一方で東灘区や須磨区の一部で住民が中心となつて要援護者対策を進めています。公明党市議団は、須磨区竜が台での取組を進める神戸大学大西一嘉准教授と連携し、対策を進めるための全国初の条例案を検討しています。

## 災害時要援護者(災害弱者)とは

- ①高齢者(ひとり暮らし高齢者、ねたきり高齢者、認知症高齢者等)
- ②障がい者(視覚・聴覚・音声言語機能の障がい、肢体不自由、難病患者等内部障がい、知的障がい、精神障がい)
- ③乳幼児
- ④外国人(日本語に不慣れな外国人)
- ⑤傷病者、入院患者
- ⑥妊産婦等の自力避難等の対応が困難な人等



### 実績シリーズ 一人の声に答えて

## 鶴越墓園内の墓参バス 日曜・祝日運行実現へ

地域のお年寄りが集まる「ふれあい喫茶」で、ある老紳士が「日曜に鶴越墓園に墓参りに行くとき、墓園が広いのでタクシーで行っている。何とかバスを走らせてくれないかな」との話を耳にしました。あれ?墓園内には無料バスが運行していたはず。市の担当に確認してみると、なんとバスは平日・土曜は運行

しているが、むしろ墓参の多い日曜・祝日は運行していないとのこと。これは理不尽と早速当局に要請し、来年度から日曜・祝日も運行することになりました。一人の声に耳を傾けることがやはり政治の原点です。

(兵庫区・菅野吉記市会議員)

### 公明党神戸市会議員 紹介



きたがわ みちお  
**北川道夫**  
東灘区



たかせ かつや  
**高瀬勝也**  
灘区



おきしま まさる  
**沖久正留**  
中央区



すがの よしのり  
**菅野吉記**  
兵庫区



やまだ てつお  
**山田哲郎**  
北区



どうした とよし  
**堂下豊史**  
北区



のき はらしゅんこ  
**軒原順子**  
長田区



むかい みちひろ  
**向井道尋**  
須磨区



おおさわ かずし  
**大澤和士**  
垂水区



みぶ じゅん  
**壬生 潤**  
垂水区



よしだ けんじ  
**吉田謙治**  
西区



ふじもと こうじ  
**藤本浩二**  
西区